



霧が丘

令和5年6月23日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 根岸 淳

人とのつながりの中で学ぶ 小学部副校長 吉田 岳雄

梅雨の候、蒸し暑く不安定な天気が続いていますが、本校でもプール開きを迎えました。

5月31日(水)～6月1日(木)に、5年生と一緒に1泊2日の清水宿泊体験学習に行ってきました。子どもたちは「**ス**てきな5年生 **カ**っこよくチャレンジ **イ**つでも協力」の学年目標に向かって仲間と一緒に時間を過ごしてきました。雨の行程にはなりましたが、子どもたちは班活動も協力してでき、静岡の施設や自然のよさを感じ取ることができました。三保の松原では、海辺ですがすがしい潮風に吹かれながら、願い事が叶うという「はちまき石」をみんなで見つけ、楽しいひとときを過ごしました。また、2日目は5時に起き、清水漁港のせりの様子を見学しました。また、マイナス50度の冷凍倉庫に入り、「寒い、寒い」と体を震わせながらもたくさんのマグロを目の前にし、社会の教科書で学んだことを実際の目で見て確かめることができ、貴重な経験となりました。学校を離れ、日常ではできない体験をしたり、何よりも仲間といつもより長い時間、スモールステップの課題解決を繰り返し、共に協調しながら過ごせたりしたことは、これからの生活に生かせることと思います。「**イ**つでも協力」の姿が随所に見られ、4年生の宿泊体験学習の経験を基にステップアップさせることができました。ご準備等、たくさんのご協力をいただきましてありがとうございました。



はちまき石



せりの様子



きりたまタイム

6月13日(火)には、第1回のきりたまタイムが行われました。テレビ放送で生徒会の生徒からの「きりたま」のねらいについて説明があり、自己紹介をしたり9年生が計画したレクをみんなで楽しんだりしました。あっという間の時間ではありましたが、小学部と中学部の児童生徒が一緒になり、下級生を思いやりながら、また上級生を見つめながら異学年交流を図れるのは霧が丘学園ならではの取組です。年間を通して4回の交流が計画されていますが、回ごとに計画の中心になる学年が交代します。年度末には卒業生を送る内容を考えるなどそれぞれの回の目的をもって活動をしていきます。今後も本校独自の9年にまたがる異学年でのふれあいが実りあるものとして展開できるよう、取り組んでまいります。

6月16日(金)には、2年生が霧の里に野菜のお世話と収穫に行きました。霧が丘連合自治会のご厚意で、一人ずつ選んだ野菜を育てる活動をさせていただいています。植えておわりではなく、草取りなどのお世話をしながら、愛着をもって野菜の成長を観ていく活動ができています。鉢植えの野菜よりも成長がよく、店で売っているものよりも特大のきゅうりを目にして驚いていました。



野菜のお世話・収穫

今月も、保護者、地域の皆様に支えられながら教育活動を充実させることができました。引き続き、皆様のお力添えのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。これから暑い日が続きます。WBGT 計の数値を確認するなど、熱中症対策を児童・生徒と確認しながら安全な学校生活を送れるよう支援してまいります。

【学校の様子をホームページにてお知らせしています】
各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<霧が丘学園ホームページ>

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>

QRコード

